

アナログウォッチ 保証書 取扱説明書

取扱説明書番号 M-001C

このたびは、弊社製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いいただきますようお願い申し上げます。なお、この取扱説明書は大切に保管し、必要に応じてご覧ください。

| 保証書 | | 本保証書は日本国内のみにて有効です。 THIS GUARANTEE IS VALID ONLY IN JAPAN. 此保証書適用範囲仅限日本国内有效。 |
|----------------|-------------|--|
| 保証期間：お買上日より6ヶ月 | お買上日： 年 月 日 | |
| お客様名 | | 様 |
| 販売店 | | |

- <保証規定>**
この時計をご使用中、取扱説明書にそった正常なご使用状態で自然故障を生じた場合には、下記保証規定により無料で修理・調整いたします。
- 保証の対象となる部分
ウォッチの回路、コイル等電気部品、歯車等機械部品
 - 保証の態様(方法)
修理・調整を原則といたします。修理の際、ガラス・ケース・文字板・針・りゅうず・バンドなどは一部代替部品を使用させていただくことがありますので、ご了承ください。
 - 保証を受けるための条件(手続き)
保証規定による修理・調整の際は必ず現品に保証書を添えてお買い上げ店にご持参ください。ご贈答・ご転居などにより、お買い上げ店での保証を受けられない場合はQ&Qお客様相談室にお問い合わせください。
- 保証の適用除外
保証期間中でも次の場合は有料修理となりますのでご了承ください。
- 革バンド、ウレタンバンド、電池交換及び使用中に生じる外観上の変化(ガラス、ケース、バンド類の小傷、汚れ)
 - お客様ご自身による修理・改造または、誤ったご使用や不注意による故障及び損傷。
 - 保証書のご提示がない場合。
 - 保証書にお買い上げ店名及びお買い上げ年月日の記載がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
 - 天災・火災・事故などによる故障及び損傷。
※保証書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理を制限するものではありません。
※本保証書は、日本国内のみ有効です。

保証とアフターサービスについて

- 保証について
正常なご使用中、保証期間内に万一故障が生じた場合には、保証書に従い、無料修理いたします。
- 修理用品について
ケース・ガラス・文字板・針・りゅうず・プッシュボタン・バンドなどの外装部品には、外観の異なる代替部品を使用させていただく場合がありますので、予めご了承ください。
- ご転居・ご贈答品の場合
保証期間中にご転居されたり、ご贈答品のためにご使用の時計がお買い上げ店のアフターサービスを受けられない場合には、下記Q&Qお客様相談室へご相談ください。
- 定期点検(有償)について
防水性能について
防水時計の防水性能は経年劣化しますので、安全に長くご使用いただくために2~3年に一度防水検査を行なっていただくことをお勧めします。防水性能を維持するためには、部品の交換が必要ですので、パッキングなどの交換をご依頼ください。
分解解除(内装修理)について
腕時計を長くご愛用いただくには分解解除(内装修理)が必要です。歯車などの部品は長くご使用いただくことにより磨耗してしまいますが、これを抑えるために潤滑油を使用しております。しかし経年劣化により潤滑油の汚れなどで部品の磨耗が進み、故障に至ることがあります。目安として5年に一度の分解解除のご依頼をお勧めします。
- 電池について
お買い上げの時計に使用されている電池は機能・性能を確認するためのモニター用電池です。お買い上げ後、所定の電池寿命に満たないうちに寿命が切れてしまうことがありますのでご了承ください。
※電池寿命が切れた場合は、保証期間であっても電池交換は有料となります。
- その他お問い合わせについて
保証や修理、その他不明な点がございましたら、お買い上げ店または下記Q&Qお客様相談室へご相談ください。

サービス窓口：Q&Qお客様相談室

| | |
|---------|-------------------------------|
| TEL. | 03-6631-2775 |
| 受付時間 | 9:30~17:30 月~金(祝日、年末年始を除く) |
| メールアドレス | qqsupport@citizen.co.jp |
| URL | http://qq-watch.jp |

製造発売元 シチズン時計株式会社 国内時計営業本部 Q&Q課

安全上のご注意(必ずお守りください)

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

| | | |
|---|----------------------------------|--|
|  | 警告 | この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。 |
|  | 注意 | この表示の欄は、「障害を負う可能性または物的障害のみが発生する可能性が想定される」内容です。 |
| ■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は絵表示の一例です。) | | |
|  | このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。 | |

ご使用になる前に

保護シールについて

時計のガラス部分や金属部分(裏蓋、バンド、中留め)にシールが貼られているときは、ご使用前に必ずはがしてください。シールのすき間に汗や水分が入り込むと、皮膚のかぶれや金属の腐食の原因となる場合があります。

時計のお手入れ方法

- ・ケース・ガラスの汚れや汗などの水分は、柔らかい布で拭き取ってください。
- ・金属バンド・プラスチックバンド・ウレタンバンド(ゴムバンド)は水で汚れを洗い落としてください。金属バンドのすき間につまったゴミや汚れは柔らかいハケなどで除去してください。
- ・皮革バンドは乾いた布などで拭いて汚れを除去してください。
- ・時計を長時間ご使用にならないときは、汗・汚れ・水分などを良く拭き取り、高温・低温・多湿の場所を避けて保管してください。

お取り扱いにあたって

警告 電池の取り扱いについて

- ・幼児の手が届かないところに置いてください。
- ・誤って電池を飲み込んだ場合にはただちに医師と相談して治療を受けてください。
- ・一般のゴミと一緒に捨てないでください。発火、環境破壊の原因となりますので、お住まいの自治体の指示に従ってください。

注意 電池交換について

- ・電池寿命切れの電池をそのままにしておきますと、漏液等により故障の原因となることがあります。早めに電池交換してください。
- ・電池交換の際は必ず指定電池をご使用ください。

注意 人への危害を防ぐために

- ・幼児を叩くときなどは、幼児のけがや事故防止のため、あらかじめ時計を外すなど十分ご注意ください。
- ・激しい運動や作業などを行うときは、ご自身や第三者へのけがや事故防止のため、十分ご注意ください。
- ・サウナなど時計が高温になる場所では、やけどの恐れがあるため絶対に使用しないでください。
- ・バンドの中留め構造によっては、着脱の際に爪を傷つける恐れがありますのでご注意ください。
- ・時計をしたまま就寝しないでください。思わぬけがやかぶれを引き起こす恐れがあります。

注意 使用上の注意

- ・りゅうずは常に押し込んだ状態(通常位置)でご使用ください。りゅうずがねじ締めタイプであれば、しっかり固定されているか確認してください。
- ・水分のついたままりゅうず操作をしないでください。時計内部に水分が入り防水不良となる場合があります。
- ・万一、時計内部に水が入ったり、またガラスの内面にクモリが発生し長時間消えないときは、そのまま放置せず、お買い上げ店または、Q&Qお客様相談室へ修理、点検を依頼してください。
- ・時計の防水性能が高い場合でも、次のことにご注意ください。
海水に浸したときは、真水で洗い乾いた布で良くふきとる。水道水を蛇口から直接時計にかけない。
入浴するときは時計をはずす。
- ・時計内部に海水が入った場合には、箱やビニール袋に入れてすぐに修理依頼をしてください。時計内部の圧力が外れ、部品(ガラス、りゅうず、プッシュボタンなど)が外れる危険があります。

注意 携帯時の注意

(バンドについて)

- ・皮革バンドやウレタンバンド(ゴムバンド)は、汗や汚れにより劣化します。定期的な交換を行ってください。
- ・皮革バンドは材質の特性上、水に濡れると耐久性に影響がある場合があります。(脱色、接着はがれ)また、かぶれの原因にもなります。
- ・皮革バンドの時計は防水時計であっても、水を使うときは時計を外すことをおすすめします。
- ・バンドは多少余裕を持たせ、通気性を良くしてご使用ください。
- ・ウレタンバンド(ゴムバンド)は、衣類等の染料や汚れが付着し、除去できなくなる場合があります。色落ちするもの(衣類、バッグ等)と一緒に使用する場合はご注意ください。また、溶剤や空気中の湿気などにより劣化する性質があります。弾力性がなくなり、ひび割れを生じたらお取り替えください。
- ・以下の場合には、速やかにバンドの調整・修理をご依頼ください。
腐食により、バンドに異常が認められたとき
バンドのピンが飛び出しているとき
お客様ご自身で時計のバンド(金属やゴム)の長さを調整しないでください。時計が落下したり、調整時にケガを付する場合があります。(製品にバンド調整用の道具が付属している場合は除く)バンドの調整は、お買い上げ店または、Q&Qお客様相談室にて承っております。その他のお店では有料もしくは取り扱っていない場合があります。

防水性能について

警告 防水性能について

- ・時計の文字板および裏蓋の防水性能表示をご確認ください。上、下表を参照して正しくご使用ください。(1barは約1気圧に相当します)
- ・WATER RESIST (ANT) xx bar はW.R. xx bar と表示している場合があります。
- ・非防水時計は、水中や水に濡れる環境での使用はできません。

- ・極端な高温/低温の環境下では、時計が停止したり、機能が低下する場合があります。
- ・**磁気について**
アナログ式クォーツ時計は、磁石を利用した「ステッピングモーター」で動いており、外部から強い磁気を受けるモーターの動きがみだされて、正しい時刻を表示しなくなる場合があります。磁気の強い健康器具(磁気ネックレス、磁気健康腹巻など)、冷蔵庫のマグネットドア、バッグの留め具、携帯電話のスピーカ一部、電磁調理器などに近づけないでください。
- ・**ショックについて**
床面に落とすなどの激しいショックは与えないでください。外装・バンドなどの損傷だけでなく機能、性能に異常を生じる場合があります。
- ・**静電気について**
クォーツ時計に使われているICは、静電気に弱い性質を持っています。強い静電気を受けると正しい時刻を表示しない場合がありますので、ご注意ください。
- ・**化学薬品・ガス・水銀について**
化学薬品・ガスの中でのご使用はお避けください。シンナー・ベンジン等の各種溶剤およびそれらを含有するもの(缶リウシ・マニキュア・クレゾール・トイレ用洗剤・接着剤・撥水剤など)が時計に付着しますと、変色・溶解・ひび割れ等を起こす場合があります。薬品類には十分注意してください。また、体温計などに使用されている水銀に触れたりしますと、ケース・バンド部分が変色することがありますのでご注意ください。

- ・**保護シールについて**
時計のガラス部分や金属部分(裏蓋、バンド、中留め)にシールが貼られているときは、ご使用前に必ずはがしてください。シールのすき間に汗や水分が入り込むと、皮膚のかぶれや金属の腐食の原因となる場合があります。

注意 時計は常に清潔に

- ・りゅうずやプッシュボタンを長期間動かさないうちにしていると、付着しているゴミや汚れが固まり、操作できなくなる事がありますので、ときどきりゅうずを空回りさせたり、プッシュボタンを押してください。また、ゴミ、汚れを落としてください。
- ・ケースやバンドは、肌着類と同様に直接肌に接しています。金属の腐食や汗、汚れ、ほりなどの気づかない汚れで衣類の袖口などを汚す場合があります。常に清潔にしてご使用ください。
- ・ケースやバンドは直接肌に接しています。ケースやバンドに発生したサビ、汚れ、付着した汗、または金属、皮革アレルギーなどにより皮膚のかゆみやかぶれを生じる場合があります。異常を感じたらすぐに使用を中止して医師にご相談してください。
- ・汗や汚れが付着した場合は、金属材質のバンドやケースは、はけなどを使い中性洗剤で汚れを除去してください。皮革材質のバンドは、乾いた布などで拭き、汚れを除去してください。
- ・皮革バンドは汗や汚れにより「色落ち」を起こすことがあります。乾いた布で拭くなどして常に清潔にご使用ください。

| 名称 | 表示 | | 仕様 | 使用例 | | | |
|-------------|---------------------|---------------------|----|--------------|-------------|----------------------|-----------------------|
| | 文字板または裏蓋 | 水がかかる程度の使用。(洗顔、雨など) | | 水仕事や一般水泳に使用。 | スキューバ潜水に使用。 | 空気ボンベ使用するスキューバ潜水に使用。 | 水滴がついた状態でのりゅうずやボタン操作。 |
| 非防水時計 | — | 非防水 | × | × | × | × | × |
| 日常生活用防水時計 | WATER RESIST | 3気圧防水 | ○ | × | × | × | × |
| 日常生活用強化防水時計 | WATER RESIST 5 bar | 5気圧防水 | ○ | ○ | × | × | × |
| | WATER RESIST 10 bar | 10気圧防水 | ○ | ○ | ○ | × | × |

製品仕様

- 水晶振動数 : 32,768Hz (Hz=1秒間の振動数)
- 時間精度 : 平均月差±20秒以内(常温5℃~35℃)
- 使用電池/電池寿命 :

| cal.番号 | 使用電池 | 電池寿命 | cal.番号 | 使用電池 | 電池寿命 |
|--------|---------|------|--------|---------|------|
| 2005 | SR6265W | 約3年 | 1L32 | SR6215W | 約3年 |
| 2015 | SR6265W | | 6P00 | SR6215W | |
| 2035 | SR6265W | | GL00 | SR6215W | |
| 2105 | SR6265W | | GL10 | SR6215W | |
| 2115 | SR6265W | | GM00 | SR6215W | |
| 2305 | SR6265W | | GM10 | SR6215W | |
| 2315 | SR6265W | | | | |
| 2405 | SR6265W | | | | |
| 2415 | SR6265W | | | | |
| 2034 | SR6265W | | 約14ヶ月 | | |

※cal.番号は右図のように裏ぶたに刻印されております。お確かめの上、使用電池をご参照ください。

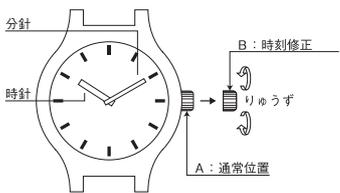
cal.番号 XXXX → XXXX

この取扱説明書は各モデル共通になっておりますので、デザインが異なってもご使用になれます。また、お買い上げ商品にない機能が載っておりましたらその箇所は省いてご利用ください。

針の合わせ方

分針を正しい時刻より4~5分進めてから逆に戻して合わせると、正確な時刻に合わせられます。日付付きの時計の日付は31日周りです。小の月(月末が30日と2月末)から翌月の1日へは、リゅうず操作での切替えが必要です。

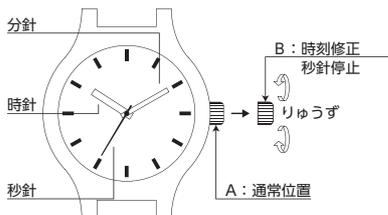
二針の時計 : cal.2025



●時刻の合わせ方

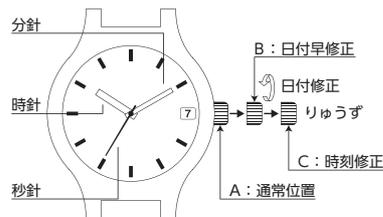
- リゅうずをB(1段引き)の位置まで引き出して、時針・分針で時刻合わせをしてください。
- 時刻合わせが終わりましたらリゅうずをA(通常位置)まで押し込んでください。時計がスタートします。

三針の時計 : cal. 2035 1L32



- リゅうずをB(1段引き)の位置まで引き出して、リゅうずを回して時刻合わせをしてください。
- 時刻合わせが終わりましたら、リゅうずをA(通常位置)まで押し込んでください。時計がスタートします。

日付のついている時計 : cal. 2015/2115/2315/2415 GL10/GM10

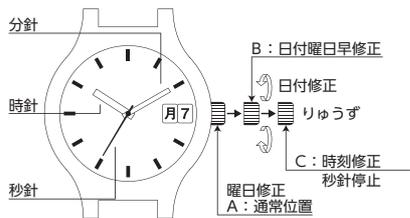


- リゅうずをC(2段引き)の位置に引き出し、午前/午後を確認のうえ、時針・分針で時刻合わせをしてください。
- 時刻合わせが終わりましたら、リゅうずをB(1段引き)の位置に戻し、左に回して日付を合わせてください。
- 日付が合いましたら、リゅうずをA(通常位置)まで押し込んでください。午後9時~午前1時までは日付の修正はしないでください。日付が変わらない場合があります。修正をする場合は時刻をずらしてから合わせてください。日付修正後に正しい時刻に合わせてください。

午前と午後の区分

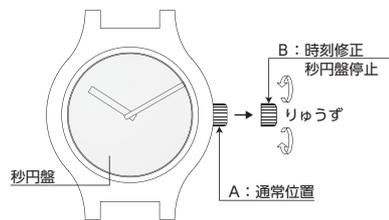
午前12時(真夜中の12時) : 11時30分~1時の間に日付が変わります。
午後12時(お昼の12時) : 日付は変わりません。

曜日・日付のついている時計 : cal. 2005/2105/2305/2405 GL00/GM00



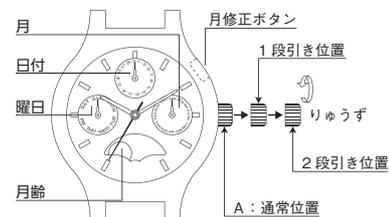
- リゅうずをC(2段引き)の位置に引き出し、午前/午後を確認のうえ、時針・分針で時刻合わせをしてください。
 - 時刻合わせが終わりましたら、リゅうずをB(1段引き)の位置に戻し、右に回して曜日を修正、左に回して日付を合わせてください。
 - 曜日・日付が合いましたら、リゅうずをA(通常位置)まで押し込んでください。午後9時~午前4時30分までは曜日・日付の修正はしないでください。曜日、日付が変わらない場合があります。修正をする場合は時刻をずらしてから合わせてください。曜日、日付修正後に正しい時刻に合わせてください。
- 午前と午後の区分**
午前12時(真夜中の12時) : 11時30分~1時の間に日付が変わります。
午後12時(お昼の12時) : 日付は変わりません。

秒円盤の時計 : cal.2034



- リゅうずをB(1段引き)の位置まで引き出して、リゅうずを回して時刻合わせをしてください。
- 時刻合わせが終わりましたら、リゅうずをA(通常位置)まで押し込んでください。時計がスタートします。※秒円盤の大きさはモデルにより異なります。

ムーンフェイス時計 : cal.6P00



●曜日の合わせ方

- リゅうずを2段引き位置に引き出し、右に回して曜日を修正をしてください。リゅうずを左回転(時・分針を反時計方向に回転)させて、曜日の修正を行うと日付が切り替わらないことがあります。

※午前12時~午前5時30分までは曜日の修正はしないでください。曜日は午前12時~午前5時30分前後頃までは切り替わります。

●時刻の合わせ方

- リゅうずを2段引き位置に引き出し午前/午後を確認のうえ、時針・分針で時刻合わせをしてください。
- 時刻合わせが終わりましたら、リゅうずを通常位置まで押し込んでください。時計がスタートします。

午前と午後の区分

午前12時(真夜中の12時) : 11時30分~1時の間に日付が変わります。
午後12時(お昼の12時) : 日付は変わりません。

●日付の合わせ方

- リゅうずを1段引き位置に引き出し、左に回して日付を修正をしてください。※午後9時~午前1時までは日付の修正はしないでください。日付が変わらない場合があります。修正をする場合は時刻をずらしてから合わせてください。日付修正後に正しい時刻に合わせてください。

●月の合わせ方

- リゅうずを1段引き位置に引き出し、1ヶ月づつ月針が時計方向に動きます。またボタンを押し切らないと月が切り替わらないことがあるため、ボタンをきちんと押しつけて修正してください。※日針が30~31日の間を示すときは月の修正をさけてください。翌月になって月が切り替わらないことや、月の修正ができないことがあります。この期間は、日針を30~31日の範囲外にして月修正を行ってください。この後で日針をセットし直してください。

●月齢の合わせ方

- ※この月齢表示は、月齢を表示したもので月そのものの形を表示したものではありません。
※月齢表示は、月齢の目安としてご利用ください。従って月齢合わせも目安で行ってください。



1) 当月の月齢を確認します。

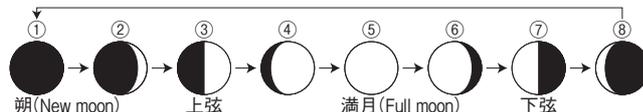
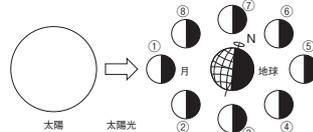
今日または明日の月齢を新聞・インターネットなどで調べます。明日の月齢を見た場合は1日分引きます。

2) 月齢合わせ[例:月齢4.4]

リゅうずを1段引き位置まで引き出して、リゅうずを右に回して月マークの中心方向が月齢目盛りのおおよそ4.4を示す位置に合わせてください。

●月齢とは

- 月の満ち欠け(月の位相)月の満ち欠けは地球から見た太陽と月の位置関係によって変化します。右図において月が①の位置にあるとき(月が太陽と同じ方向にあるとき)は、地球から見て月は背後から照らされています。この状態を新月(朔)と呼びます。そこで月はそれぞれの位置によって、下図のようになって見えます。



月は①→②→③→④→⑤→⑥→⑦→⑧の現象をくり返します。

- 月齢とは…朔(New moon)から経過した時間を1日単位で表したもので、朔(New moon)から次の朔(New moon)までの平均周期は、約29.5日に相当します。

●月齢の見方(表示例)…月齢表示から潮の大小が読み取れます。

| 朔(New moon) | 上弦 | 満月(Full moon) | 下弦 |
|-------------|-----------|---------------|------------|
| ①月齢0(大潮) | ③月齢約7(小潮) | ⑤月齢15(大潮) | ⑦月齢約22(小潮) |
| | | | |

※この時計の月齢をより正確に合わせたいときは、朔(New moon)【月マークが全く見えない状態…月齢0】または、満月(Full moon)【月が真上(12時方向)にある状態…月齢15】のときに合わせることをおすすめいたします。

夜光付き時計の場合は

時計の文字板や針には、放射線物質などの有害物質を一切含まない、人体や環境に安全な物質を使用した蓄光塗料が使用されています。この塗料は太陽光や室内照明(白熱灯を除く)などの光を蓄え、暗い所で発光します。
○蓄えた光を放出させるため、時間の経過とともに少しずつ明るさ(輝度)は落ちていきます。
○光を蓄えるときの光の明るさや光源からの距離、光の照射時間や蓄光塗料の量などによって、発光する時間に差異が生じます。
○光が十分に蓄えられていないと、暗い場所で発光しなかったり、発光してもすぐに暗くなってしまったりする場合がございますのでご注意ください。